

信頼の進化論：AI とトークン経済が描く人間社会の再設計 ～ステーブルコイン、予測市場、そして World ID が示す新しい信頼のかたち～

共同主催：

慶應義塾大学経済学部附属経済研究所 FinTEK センター、Tools for Humanity (TFH)、
Institution for Global Society 株式会社 (IGS)

開催概要

項目	内容
日 時	2026 年 1 月 8 日 (木) 15:00～18:00 (3 時間)
会 場	慶應義塾大学 三田キャンパス
対象者	金融関係者、教育・人材関係者、研究者、学生、政策担当者
言 語	日本語

セミナー概要

AI とトークン経済が交差する時代。

私たちはいま、「何を信頼し、どのように共有するか」という根源的な問いに直面しています。本セミナーでは、急速に広がるステーブルコイン、ゼロ知識証明 (ZKP) を活用した World ID の Orb 認証デモンストレーション、そして予測市場の理論・実践・人的資本への応用を通じて、AI 時代における“新しい信頼”的設計図を、体験的に探求します。

プログラム構成（全体 180 分）

時間	内容	登壇者
15:00～	開会挨拶	中妻照雄（慶應義塾大学経済学部 教授・経済研究所 FinTEK センター長）
15:05	「AI 時代における“信頼”的再設計」	
15:05～	特別講演 1： AI 時代のデータ連携アーキテクチャ	国領二郎（慶應義塾大学総合政策学部 名誉教授）
15:25～ 15:35	特別講演 2： AMRO から見た、デジタルペイメント、ステーブルコインと予測市場の動向	渡部康人（ASEAN+3 マクロ経済リサーチ・オフィス (AMRO) 事務局長）
15:35～ 16:00	Session 1： ゼロ知識証明・AMPC の実装と World ID —「証明はするが、情報は開示しない」技術の最前線	牧野友衡（TFH 日本代表）

時間	内容	登壇者
16:00～ 16:25	Session 2：予測市場の理論と社会的意義 —集合知と市場設計が生む新しい判断メカニズム	坂井豊貴（慶應義塾大学経済学部 教授）
16:25～ 16:45	Session 3：人的資本と予測市場 —予測市場が明らかにする企業の成長性	福原正大（慶應義塾大学経済学部 特任教授）
16:45～ 17:25	パネルディスカッション 「AI・ZKP・予測市場が創る『信頼経済』の未来」	国領二郎、坂井豊貴、牧野友衡、福原正大
17:25～ 17:30	休憩・準備 (Orb ブース・ログインサポート)	TFH 運営チーム/IGS
17:30～ 18:00	実践セッション：World ID を用いた予測市場演習 「学生が就職すべき業界・企業はどこか？」	進行：福原正大 × TFH 運営チーム×IGS
18:00	閉会挨拶 「AI・ZKP・人的資本をつなぐ新たな投資社会へ」	中妻照雄

セッション概要

● Session 1：ゼロ知識証明・AMPC の実装と World ID

- ・ 新しい時代の個人認証
- ・ ゼロ知識証明 (ZKP) とマルチパーティ計算 (MPC) の応用
- ・ 「情報を開示せずに信頼を証明する」技術～18 歳以上をどのように証明しますか？

● Session 2：予測市場の理論と社会的意義

- ・ 予測市場の基礎理論と設計原理
- ・ 集合知・分散判断・情報集約の経済学
- ・ 匿名性を担保した市場メカニズムの意義

● Session 3：人的資本と予測市場

- ・ 人的資本を“投資対象”として可視化可能か？
- ・ 企業における人的資本予測市場の可能性
- ・ Orb 認証または World ID を活用した実在性ある市場の構築

● パネルディスカッション

テーマ：「AI・ZKP・予測市場が創る『信頼経済』の未来」

討論論点：

- ・ AI による個人情報リスク過剰な透明性と ZKP の可能性
- ・ 投資運用者が予測市場を利用する意義～見えない情報を可視化する

- World ID が拓くグローバル認証経済
 - 日本が主導する“人的資本市場”的可能性
-

● 実践セッション：World ID を用いた予測市場演習

テーマ：

「学生が就職すべき業界・企業はどこか？」

進行フロー：

1. Orb 認証実践
2. Orb 認証済み World ID 利用者がログイン (MetaMask または専用サイト経由)
3. トークン (FT) で Yes/No に投票
4. 市場価格の変動をリアルタイム表示
5. 集合知による確率分析結果を提示
6. 福原教授によるフィードバック・今後の展望紹介

目的：

- 参加者が ZKP 認証の実用性を体験
- 匿名性と透明性を両立した市場参加を学ぶ
- 「信頼経済」の実証体験